

協会報

Seasonal Association Bulletin

2025
— 春号 —
NO.468

TOPICS

- ▶ 馳 浩知事を表敬訪問
- ▶ 人事異動に伴う着任ご挨拶
- ▶ 新年度に伴うご挨拶
- ▶ 石川県復興公営住宅建設推進協議会の設立



石川の工芸シリーズ 80
象嵌花器「いつかの風景」



“未来”を創り“ふる里”を守る建設産業
一般社団法人 石川県建設業協会

協会報は、四季報（フルカラー）発行になりました

当協会では、デジタルトランスフォーメーション(DX)の一環として、協会報の内容について協会ホームページやグループウェアの充実活用を図ることとし、今回の春号から年4回の四季報発行(4月末・7月末・10月末・1月末)とすることとしました。

毎月掲載していた「今月の輝きさん!」は、石川県建設業協会のホームページの専用コーナーに引き続きアップするとともに、四季報では、本年夏号から3名ずつを誌面掲載します。

今後も皆様方からご意見・ご要望等を賜りながら、引き続き誌面の充実及び広報業務の合理化・効率化に取り組んでまいります。ご理解とご協力の程よろしくお願い申し上げます。

The image shows a screenshot of the General Construction Association's website on the left and a promotional graphic on the right. The website has a green header with the association's name in Japanese and English, and a sidebar menu with links to Home, Association News, Notices, Meetings, Association Bulletin, Member Registration, and Contact. Below the menu are three featured articles: 'Image Up Project for the East of Ishikawa', 'This month's 'Shining!' person', and 'Construction Mutual Insurance'. The promotional graphic on the right has a blue sky background with clouds and a cityscape. It features the text '未来を創り 未来を守る 建設産業' (Creating and protecting the future, construction industry) and 'ふる里' (Fururi). At the bottom, there is an Instagram icon, a QR code, and two call-to-action buttons: 'こちらで地区協会等の情報発信をしております。ぜひご覧ください。' (We are active here for information from local associations. Please take a look.) and 'ホームページをご覧ください' (Please visit the homepage).

ホームページも是非ご覧ください！

INDEX

TOPICS

馳 浩知事を表敬訪問	2
人事異動に伴う着任ご挨拶	3
新年度に伴うご挨拶	4
石川県復興公営住宅建設推進協議会の設立	5

災害復興の足音	6
---------	---

石川県ニュース

「金沢城二の丸御殿」復元整備工事が始動	8
石川県土木部公園緑地課	

令和6年度 石川県優良建設工事 知事表彰の紹介

株式会社江口組	10
株式会社風組	11
株式会社千場建設	12
株式会社豊蔵組	13
真柄・荒木特定建設工事共同企業体	14
株式会社田村工業	15
毎田建設株式会社	16
横山建設株式会社	17

人材育成・確保

入職促進動画「スタートライン」の作成	18
石川労働局への入職促進動画「スタートライン」寄贈	19
石川県教育委員会への入職促進動画「スタートライン」寄贈	19
工業系高校生を対象とした現場見学会の開催	20
女性部会『百万石小町「結」』令和6年度幹事会の開催	20

輝きさん

沢田工業株式会社 吉井 啓太さん	21
------------------	----

協会ニュース

常任理事会の開催	22
復旧復興工事における労働時間管理・労働災害防止対策に関する講習会の開催	22
石川県土木部との意見交換会の開催	23
新入社員向けIT研修会の開催	23
令和7年度新入社員研修の開催	24

東日本建設業保証株式会社ニュース

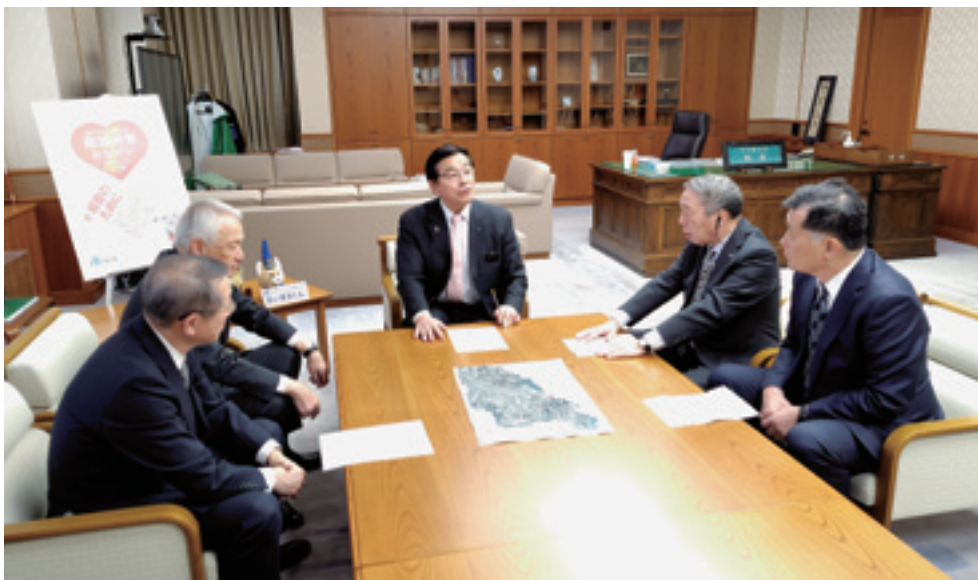
電子保証を利用してみませんか	25
----------------	----

馳 浩知事を表敬訪問

4月17日(木)、鶴山庄市会長、中市勝也副会長、小中出佳津良副会長、山岸 勇専務理事、鈴見裕司参与、松村武志常務理事の6名が県庁を訪れ、馳 浩知事を表敬訪問しました。

鶴山会長は、県の成長戦略の実現に向けた予算確保、災害復旧工事への発注者型の週休二日工事及び余裕期間制度の導入、設計労務単価の早期改定等に対する御礼を伝えました。

馳知事は、「地元からの早期復旧の声は強い。建設業界の人手不足は承知しているが、国・県・市町の復旧がバランスよく進むよう、より一層の取り組みを願う。県建設業協会が行っている工業系高校の現場見学に、大規模でICTを活用している災害復旧現場を取り入れ、対象の高校も工業系に限らず、公立や私立の普通科に拡充するなど、防災教育の観点を踏まえて取り組んでも良いと思う。」旨、述べられました。



< 馳知事との懇談 >

馳知事の表敬後、本田 琢土木部長（他土木部幹部）、吉田健一農林水産部長（他農林水産部幹部）への挨拶を行いました。その席上、復旧復興工事における発注者間の調整、既発注工事の着手に向けた設計の促進、河川と隣接するほ場との一体的な復旧等を要望しました。



< 土木部幹部との懇談 >



< 農林水産部幹部との懇談 >

人事異動に伴う着任ご挨拶

本年4月1日付けで、石川県土木部長に就任された本田 琢氏以下、土木部幹部が、1日(火)、県建設業協会を訪問され新任のご挨拶をいただきました。県協会では、鶴山庄市会長以下、役員が出迎えました。

本田土木部長は挨拶で「能登半島地震や豪雨災害において、復旧・復興にご尽力いただき心より感謝申し上げます。引き続き皆様と連携を深めながら一日も早い復興に全力を尽くすとともに、持続可能な建設業の発展に向けた施策を推進してまいります。」と述べられました。



<土木部幹部の皆様>

その後、災害対応等の諸課題を中心に懇談が行われ、当協会から、国、県、市町が連携を図りながら、地域の建設業の実情に応じた発注時期や発注規模等の配慮を願うとともに、災害復旧・復興、更にはその先を見据えて、羽咋以南の県下全域を含め、地域の実情に応じた社会資本整備を進めていただくことを期待している旨を伝えました。県側からは、建設業協会からの要望を踏まえ、新年度から全ての県の災害復旧工事について、週休2日の取得を前提とした「発注者指定型週休2日工事」や「余裕期間制度」の対象とすることに加え、災害復旧工事においても熱中症対策や快適トイレ等が対象となったことから、当初設計や変更設計で適切に対応する旨のお話がありました。

(来訪された土木部幹部)

- | | |
|--------------|---------|
| ・石川県土木部長 | 本田 琢 氏 |
| ・石川県技監（土木担当） | 宮本 義浩 氏 |
| ・土木部復旧復興戦略監 | 木村 康博 氏 |
| ・土木部次長 | 野見 佳賢 氏 |
| ・土木部次長（土木担当） | 越井 信行 氏 |



<土木部幹部との懇談>

同日、石川県農林水産部の家元雅夫参事（農業土木担当）以下、農林水産部幹部のご挨拶をいただきました。

(来訪された農林水産部幹部)

- | | |
|--------------------------|---------|
| ・石川県参事（農業土木担当） | 家元 雅夫 氏 |
| ・農林水産部次長 | 福井 誠 氏 |
| ・農林水産部農業基盤課担当課長（国営・災害担当） | 安江 龍郎 氏 |
| ・農林水産部農業基盤課担当課長（事業監理担当） | 青木 克弘 氏 |



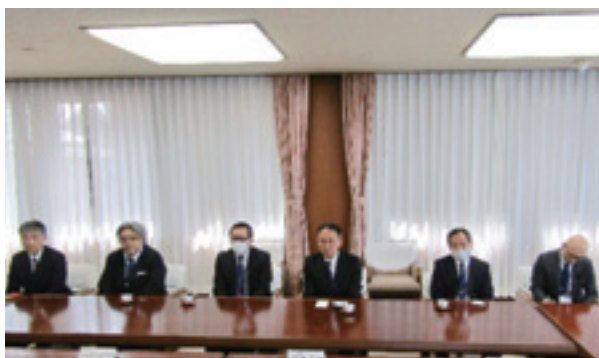
<農林水産部幹部の皆様>

新年度に伴うご挨拶

国土交通省北陸地方整備局金沢河川国道事務所 五十川泰史所長ほか、金沢河川国道事務所及び能登復興事務所の幹部が、4月4日(金)、新年度のご挨拶に県建設業協会を来訪されました。県協会では、鶴山市市長以下、役員が出迎えました。

五十川所長は挨拶で、「能登半島地震や奥能登豪雨における災害復旧・復興に大変ご尽力いただき、心より感謝申し上げます。引き続き、ご意見を賜りながら取り組んでまいります。」と述べられました。

その後、災害対応等の諸課題を中心に懇談が行われ、当協会から、地域の建設業の実情に応じた発注時期や発注規模等の配慮を願う旨を伝えました。事務所側からは、意見交換会等を通じて皆様方からご意見をいただきながら、現場実態に基づく必要措置を講じてゆく旨のお話がありました。



<事務所幹部の皆様>



<幹部との懇談>

(来訪された事務所幹部)

・金沢河川国道事務所長	五十川泰史 氏
・金沢河川国道事務所副所長（河川担当）	九田 将茂 氏
・金沢河川国道事務所副所長（道路担当）	飴谷 卓也 氏
・金沢河川国道事務所事業対策官	川原 克美 氏
・能登復興事務所副所長（河川）	辻 隆宏 氏
・能登復興事務所副所長（道路）	健名 政博 氏

“未来”を創り“ふる里”を守る建設産業



一般社団法人 石川県建設業協会

石川県復興公営住宅建設推進協議会の設立

県建設業協会は、設計及び建設関連6団体及び資材供給・技能者関連等4支援団体とともに「石川県復興公営住宅建設推進協議会」を設立しました。

応急仮設住宅の建設が完了しましたが、本格的な被災地の復興には「恒久的な住まいの確保」が必要であり、被災市町の「被災地域にとどまらず県全体での整備体制の構築を望む声」を受けた石川県からの働きかけにより、この度の設立に至りました。

被災市町では、住宅の自力再建ではなく公的な賃貸住宅を希望する方の需要把握を進めていますが、石川県が取りまとめた令和7年3月末現在の必要戸数は、約3,000戸となっています。

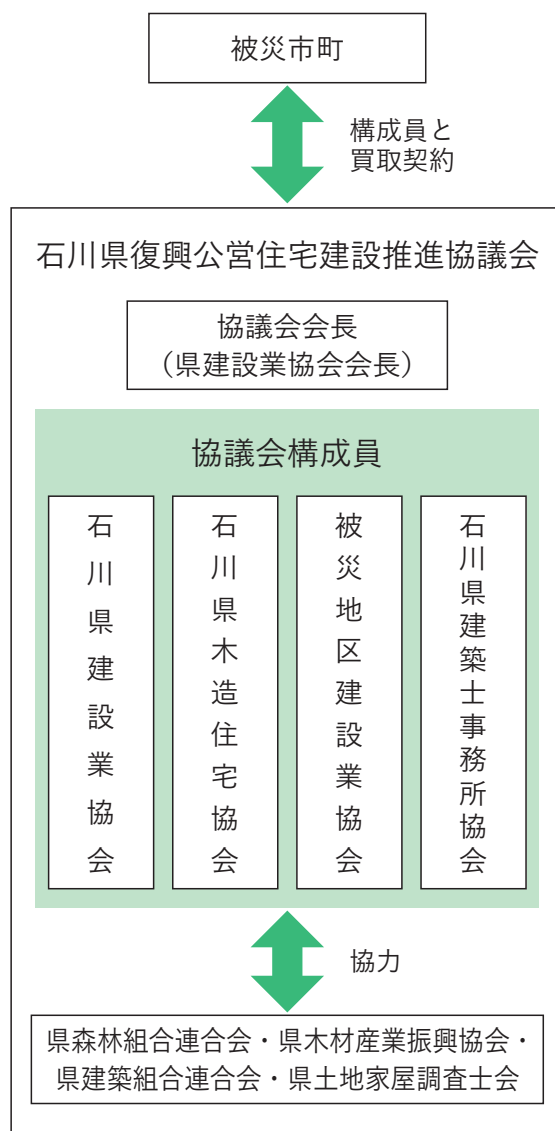
本年3月12日(水)開催の設立総会において、会長に当協会の鶴山庄市会長が選任され、事務局を当協会に置くこととし、今後、被災市町の要望に応じて創造的復興の理念に即した公営住宅の迅速な提供に向け取り組んでまいります。

【協議会構成員】

- 正 会 員 (一社)石川県建設業協会
(一社)石川県木造住宅協会
(一社)石川県建築士事務所協会
(一社)珠洲建設業協会
(一社)鳳輪建設業協会
(一社)七尾鹿島建設業協会
(一社)羽咋郡市建設業協会
- 支援会員 石川県森林組合連合会
(公社)石川県木材産業振興協会
(一社)石川県建築組合連合会
石川県土地家屋調査士会



<令和7年3月12日設立総会（鶴山会長挨拶）>



災害復興の足音

土地改良委員会（向出剛一委員長）は、被災地域以外の会員企業に働きかけ、昨年11月中旬から令和6年9月能登半島豪雨で被災した珠洲市や輪島市の農地や農業用施設の災害復旧を支援しています。

■被害状況



■作業位置図

珠洲市では、加賀地域の5社が週5日のローテーションを組んで作業を実施しています。



■珠洲市若山町：山際の用水路の土砂撤去

大規模な山崩れにより用水路が埋没



■珠洲市若山町：用水機場の土砂撤去 調整池内に土砂流入



■輪島市町野町：用水路の堆積土砂等撤去 町野川氾濫による土砂流入



■輪島市門前町：排水路の堆積土砂撤去 八ヶ川氾濫による土砂流入



■向出委員長のコメント

土地改良委員会では、県農林水産部からの要請を受け、令和6年能登半島地震に続き、会員企業の協力を得ながら奥能登豪雨により被災した農地・農業用施設の復旧作業に当たっています。

現在、今年の営農に間に合わせるため大雨により用水路や排水路等に流入した土砂や流木の撤去作業を中心に実施しています。

地元農家さんのためにも、1筆でも多く営農が再開できるよう復旧作業を進めていきたいと考えていますので、会員企業の皆様には引き続きご協力をお願いします。

石川県建設業協会では、行政と連携を取りながら一刻も早い復旧・復興に向け、引き続き各種業務に従事していきます。

**がんばろう能登！
がんばろう石川！**

「金沢城二の丸御殿」復元整備工事が始動

石川県土木部公園緑地課

はじめに

石川県では金沢城の貴重な歴史的文化遺産を後世に継承し、県下の交流人口の拡大と都心地区の魅力向上を図ることを目的に、金沢城公園の整備を進めています。

これまでに平成13年完成の菱櫓・五十間長屋・橋爪門続櫓をはじめとし、河北門、橋爪門二の門、令和2年の鼠多門・鼠多門橋の完成まで復元整備の取り組みを進めてきました。

現在、復元整備を進めている二の丸御殿は、藩主の住居や政務の場として藩政の中心となった城内最大の建造物であり、平成30年から復元に向けた調査検討を進め、本年3月から工事に着手しています。

復元整備の概要

①「表向（おもてむき）」の復元整備

二の丸御殿の復元は、金沢城の価値や魅力の向上はもとより、次世代への技術の継承、被災した能登の職人の方々の生業再建など、多面的な意義を有する事業です。

復元整備にあたっては、史実性の高い復元整備を目指し、埋蔵文化財の発掘調査や史料の調査、歴史や城郭建築の専門家からなる専門委員会による助言・指導など、検討を進めてきました。これらの調査検討を踏まえ、儀礼や政務の場であった「表向」の主要部を復元整備の対象とし、このうち玄関・式台周辺を第1期の整備範囲としました。

御殿は、これまで整備してきた門や櫓とは異なり、^{やぐら}飾金具や障壁画など豪華絢爛な内外装を備えており、こうした装飾をゆっくりと観覧いただくとともに、館内には多目的に利用できる空間も備えることとしています。史実を尊重した伝統的な木造による整備を前提に、バリアフリー対応や耐震性の確保、冷暖房の整備など、来訪される方が安全で快適に利用できる整備に努めます。

昨年度から今年度にかけて、工事現場を覆う仮設の建物である素屋根の建設を進め、その後、柱や梁を組み上げる建築躯体工事、屋根や内外装の仕上げ工事と、順を追って進めていきます。



<図-1 江戸時代後期の二の丸御殿>



<図-2 二の丸御殿「表向」主要部のイメージ>

②復元整備の気運醸成

二の丸御殿の復元整備は長期にわたるため、完成に向けて県民や観光客など多くの方の関心や気運を高め、理解と協力を得ながら進めていくことが重要と考えています。

そのため、これまで二の丸御殿に関する展示や、御殿をVR（仮想現実）技術で復元した映像の制作放映、参加・体験型のイベントなどを実施してきました。

今年度は、「見える金沢城」として、工事現場を囲む仮設塀に復元工事の状況を映すモニターを設置し、地震で被害を受けた石垣の復旧状況の情報発信とあわせて、ウェブサイトや現地で金沢城の「いま」を発信することで、文化観光の推進につなげていきます。

また、県民参加による城づくりの取り組みとして、6月頃より寄附事業を開始し、県民をはじめ、より多くの方に期待を寄せていただき、末永く愛着を持っていただけるように努めます。



<写真-1 VR映像の放映（鶴の丸休憩館）>



<写真-2 イベントの実施（文化財調査を体験）>

おわりに

本年3月9日（日）に開催した起工式では、関係者約80名にご出席いただき、晴天のもと無事執り行うことができました。

引き続き、事業の情報発信を積極的に行いながら、二の丸御殿の復元に向けて着実な取り組みを進めてまいります。



<写真-3 起工式での杭打ち初めの様子>



<写真-4 式典後のアトラクション>

4災78号 一般国道416号 道路災害復旧工事

<施工企業名> 株式会社江口組

- 工 事 名 4災78号 一般国道416号 道路災害復旧工事
- 工事分野 河川工事
- 施工場所 小松市新保町 地内
- 工事概要 復旧延長 L=35.3m (W=3.0m~3.2m)
コンクリートブロック積工 A=204㎡
小口止工 N=2箇所
隔壁工 N=1箇所
舗装工 A=92㎡
区画線工 L=36m

■工 期 令和5年5月16日~11月30日



<完成>

推薦理由

本工事は、令和4年8月3日~4日の大雨により被災した一般国道416号の道路災害復旧工事である。

本路線は、小松市街と福井県勝山市を結ぶ重要なアクセス道路であり、地元や漁協と連絡を密に行い要望に対して真摯に対応し、他工事も含めた通行止めの調整をして、苦情や事故もなく円滑に工事を完成させた。

また、本路線は狭隘な道路かつ複数箇所被災しており、冬期閉鎖区間であるため他の災害復旧工事も含めて施工可能時期が限られていた。複数の災害復旧工事を同時に施工するために、迂回路・転回場を整備し、工事車両の交通整理を行った。

作業風景



<工事用仮設搬路設置>



<ブロック積工>

現場代理人等のコメント



下原毅士氏

令和4年の大雨被害による国道416号の復旧工事を行いました。施工場所は市街地から33km離れており、携帯の電波も届かない場所であったため、日常的な連絡や材料等運搬にも苦労が多かったです。また、同時期に沿線での工事が多数稼動しており、道路幅員が狭く車両の離合が難しいことなどから、各社との調整は重要な課題であり日々変化する状況に都度対応しました。限られた作業エリアや河川内での施工性と自然環境などにも考慮しながら、仮設方法（工事用坂路・土留工法）を工夫するなど安全施工にも努めました。夏場の施工中は虫との戦いでもあり、オニヤンマくんに大いなる助けを乞うたのも思い出の一つです。現場が山間での工事であったため、苦労する点は多かったものの、これまでの現場人生で得た経験をフル活用しながら、書類業務の面ではバックオフィスの建設ディレクターと連携し従来の移動時間によるタイムロスを抑え業務の効率化を図りました。

4災136号 大道谷川 砂防災害復旧工事

<施工企業名> 株式会社風組

- 工 事 名 4災136号 大道谷川 砂防災害復旧工事
- 工事分野 河川工事
- 施工場所 白山市白峰 地内
- 工事概要 復旧延長L=112.2m（両岸）
根継工L=55.2m
重力式擁壁工（H=5.27m）L=57.0m
石積工A=139.1㎡ 根固工(2t)N=68個
- 工 期 令和4年12月2日～令和5年9月29日



<完成>

推薦理由

本工事は、令和4年8月3日～4日の豪雨により発生した砂防災害復旧工事である。

根継工の施工に際しては、床掘り時における既設護岸の崩落などに注意を要する現場であったが、残存型枠を使用することで掘削面の露出期間を極力少なくし、工程の短縮を図る工夫を行った。また、石積工に際しては、既存石積工の石材を再利用する計画であったが、石材を破損しないよう慎重に護岸を取壊し、全ての石材を綺麗に取り出したほか、据付に関してもかみ合わせが良好で、美観良く仕上げています。さらに、工事用道路（河川横断部）における仮排水路については、流下能力向上のため、ボックスカルバート（1.2m×1.2m）を4列に敷設して通水断面を増強し、出水時における安全確保に努め、事故なく工事を完成させた。

作業風景



<重力式擁壁工>



<護岸工>

現場代理人等のコメント

この度は、令和6年度石川県優良建設工事知事表彰を賜り誠にありがとうございます。石川土木総合事務所の皆様、協力業者の皆様、地元住民の皆様の皆様のおかげであると深く感謝申し上げます。

本工事は、蛇行河川での災害復旧工事で、工事範囲も広範囲に亘っての施工となる為、施工計画も重要となりました。特に重要と考えたのは、重力式擁壁及び石積護岸の仮締切工です。春先の大道谷川は雪解けや降雨により増水が多く発生する為、増水時の水位を想定して当初よりも強固な仮締切を施工し被害を未然に防ぐことが出来ました。

石積護岸工においては、L=57m、H=2.4mを30cm程度（10段）の玉石を全て人力で据付けて、玉石の据わりや見栄えを重視して一個一個丁寧に積みました。施工時期が暑い夏場だった為、作業員の熱中症対策には十分気を付けて作業に努めました。

最後になりますが、関係者皆様の協力のもと無事故で完成したことに感謝いたします。今後も地域の安全安心な生活に貢献できるよう努めていきたいと思っています。



梶 博人氏

一般県道 百海七尾線 地方道改築工事（函渠1工区）

< 施工企業名 > 株式会社千場建設

- 工 事 名 一般県道 百海七尾線 地方道改築工事
(函渠1工区)
- 工事分野 道路改良工事
- 施工場所 七尾市天神川原町 地内
- 工事概要 場所打ちボックスカルバート工
L=29.5m(B4200×H1500)
- 工 期 令和4年10月3日～令和5年8月31日



< 完成 >

推薦理由

当該工事は、一般県道百海七尾線（七尾外環状道路）を横断する河川を場所打ちボックスカルバートで暗渠化する工事である。

冬期におけるコンクリート構造物の品質を確保するため、温度応力解析結果に基づく補強鉄筋やひび割れ誘発目地を追加したほか、3次元測量データを活用して複雑な現場を3次元でモデル化することにより作業員のミスや事故防止に努めるなど、高度な技術力により良好な出来栄で工事を完成させた。

また、現場は小中高の通学路に面していたことから、大型車両による出入りの時間制限、交通危険箇所の全作業員への周知に加え、降雪時は歩道除雪・散布を行い児童の安全対策に配慮したほか、周辺地域の美化活動を積極的に行うなど、苦情なく安全に工事を完了させた。

作業風景



< CIM の活用 >



< 生コン打設状況 >

現場代理人等のコメント



石川武志氏

この度、栄えある国土と交通等に関する知事表彰（優良建設工事）を賜り、感謝申し上げます。

今回の受賞は、中能登土木総合事務所職員のご指導はもとより、地域住民をはじめ、工事に携わった関係者すべての方々のご協力の賜物です。

この工事は、外環状道路計画内の横断河川に現場打ちのボックスカルバートを施工する工事であり、現場付近には小中学校、高等学校、保育園が立ち並び、通学路にもなっているため、安全対策に特に留意しなければなりません。また、この構造物は、直線区間と曲線区間からなり、さらに、仮設歩道、仮設水路の施工、周辺道路の輻輳状況など、施工のイメージを作業員がわかりやすく認識できるよう、CIMを活用して工事の見える化を図りました。

今後も、この受賞を糧とし、日々の精進を怠らず、地域の守り手として努力してまいります。

金沢外環状道路 海側幹線Ⅳ期 地方道改築工事 (浅野川橋梁 海側 P15橋脚工)

< 施工企業名 > 株式会社豊蔵組

- 工 事 名 金沢外環状道路 海側幹線Ⅳ期 地方道改築工事
(浅野川橋梁 海側 P15橋脚工)
- 工事分野 河川・道路構造物工事
- 施工場所 金沢市北寺町 地内
- 工事概要 橋梁下部工
橋脚工(張出式鉄筋コンクリート橋脚 H=6.7m)
N=1基
基礎杭(場所打ち杭 φ1200mm、L=40.5m)
N=20本
- 工 期 令和4年12月1日～令和5年9月29日



< 完成 >

推薦理由

本工事は、金沢都市圏の骨格を形成し、交通の円滑化を図る重要な幹線道路である金沢外環状道路海側幹線において、浅野川うみかん大橋の海側P15橋脚を築造するものである。

場所打ち杭では、主筋継手部の連結金具や、スペーサーを追加することにより、鉄筋カゴの変形防止、偏心・傾斜を最小限に抑えた。また、夏季における躯体のコンクリート打設では、全天候型仮囲いの設置、コンクリートの温度管理等を適切に行い、ひび割れの発生を最小限に抑え、良好な出来栄で工事を完成させた。そのほか、3Dモデルを使用して、施工計画の検討や周辺地盤の変位確認を行う等、ICT技術を積極的に活用し、現場の省力化・高度化に取り組んだ。

作業風景



< コンクリート打設状況 >



< 場所打ち杭施工状況 >

現場代理人等のコメント

この度、「金沢外環状道路 海側幹線Ⅳ期 地方道改築工事(浅野川橋梁 海側P15橋脚工)」の工事にて石川県優良建設工事知事表彰を頂いたことは、関係者一同にとりまして、大変名誉なことであり深く感謝いたしております。

本工事は、金沢外環状道路海側幹線・浅野川橋梁の下部工事を施工するものであり、基礎杭(オールケーシング工法)20本、橋脚1基が主な施工内容でした。

橋脚躯体は夏季の施工となることから、コンクリートの品質低下が課題となりました。当現場では、特に湿潤養生方法を冠水できるように型枠等を設置し、冠水状態での養生を行うことで、暑中コンクリート対策を行いました。

最後になりましたが、本工事が無災害で無事完了できましたことは、県央土木総合事務所ならびに外環状道路建設課の方々の助言と、近隣住人皆様の御理解・御協力があったの事と思います。

今回の受賞を励みに、さらなる努力をしていきたいと思っております。有難う御座いました。



村田 俊氏

金沢外環状道路 海側幹線Ⅳ期 地方道改築工事 (浅野川橋梁 海側 P6橋脚工)

< 施工企業名 > 真柄・荒木特定建設工事共同企業体

- 工 事 名 金沢外環状道路 海側幹線Ⅳ期 地方道改築工事(浅野川橋梁 海側 P6橋脚工)
- 工事分野 河川・道路構造物工事
- 施工場所 金沢市大河端町 地内
- 工事概要 橋梁下部工
橋脚工(張出式鉄筋コンクリート橋脚 H = 16.6m)
N = 1基
基礎杭(場所打ち杭 ϕ 1200mm、L = 37.5m)
N = 36本
- 工 期 令和3年12月3日～令和6年3月12日



< 完成 >

推薦理由

本工事は、金沢都市圏の骨格を形成し、交通の円滑化を図る重要な幹線道路である金沢外環状道路海側幹線において、浅野川うみかん大橋の海側 P6橋脚を築造するものである。当該工事は、浅野川の河川区域内において3期にまたがる非出水期間に橋脚を築造する工事である。冬季のマスコンクリート打設であったため、雪寒囲い内でのジェットヒーター・ジェットファーンネスによる給熱養生を実施したほか、出水期には、鉄筋の一部が露出した状態で残置することとなるため、防錆剤を塗布し、鉄筋どうしをつないで、風の影響による繰り返し荷重で躯体が損傷することを防ぐ等、コンクリートの耐久性向上に向けた品質管理に努め、良好な出来栄で工事を完了した。

作業風景



< 土工、土砂掘削状況（三次掘削） >



< 場所打ち杭工、コンクリート打設状況 >

現場代理人等のコメント



本間大智氏

この度は、名誉ある石川県優良建設工事知事表彰を賜り、誠にありがとうございます。これも県央土木総合事務所担当監督員並びに職員の皆様、地域住民の皆様をはじめ工事関係者の方々の協力のおかげであると、深く感謝申し上げます。

本工事での課題としては、①非出水期間での施工、②狭小な河川敷ヤードでの場所打ち杭・橋脚躯体の施工、③出水期間中の柱鉄筋、躯体の品質確保、が挙げられました。

これらの対応策として、①各工種工程計画と実施の差異を把握し遅延の発生しない綿密な工程管理、②場内切り回し通路設置など仮設ヤードの工夫や各種機械の作業スペースの確保、③露出する柱鉄筋への防錆剤塗布、強風による鉄筋の振れに伴う躯体への損傷抑制の振れ止め設置、を実施しました。

このような取り組みが実を結び、評価していただけたものと考えております。

今後さらなる技術向上を図れるよう、より一層精進して参りたいと考えております。

令和5年度 県営ほ場整備事業（機構関連型） 西谷内・古江地区 区画整理工事

< 施工企業名 > 株式会社田村工業

■工 事 名 令和5年度 県営ほ場整備事業（機構関連型）

西谷内・古江地区 区画整理工事

■施工場所 七尾市中島町西谷内 地内

■工事概要 区画整理工 A=2.9ha

・整地工 A=2.9ha

・用水路工 L= 840m

・排水路工 L= 336m

・道路工 L= 749m

■工 期 令和5年5月31日～12月20日



< 完成 >

推薦理由

急傾斜での安全管理が求められるほ場整備工事

当該工事は、県営ほ場整備事業における区画整理工事であり、工事箇所は二級河川西谷内川の左岸側に位置した谷部で急傾斜であるとともに、猛禽類の営巣も近隣で確認されていることから騒音対策が必要な厳しい現場条件であった。

狭い区画での整地や高低差の大きい法面の施工箇所があったが、人検知衝突軽減システムや3点バックモニターを搭載したバックホウを使用するなど事故防止に努めながら安全対策に努めている。また、騒音、振動等のデジタル測定器を用いて騒音対策に努めながら優良な出来栄を確保した。

作業風景



< 基盤切り盛り >



< 転石 >

現場代理人等のコメント

本工事は、山間部に位置し約30mの高低差のあるほ場区画整理工事で、盛土法面整形においては急速な高盛土は避け、一層まき出し厚30cmを基本に基盤の転圧を徹底し、なお、既設基盤土内には転石が非常に多く点在していて、盛土区域では計画高の1m以下に埋設、農道部でのパイプライン埋設に支障のない位置に埋めることで、のちの耕作に支障が発生しないよう管理しました。

また、この地域は猛禽類および環境対策が必要とされることから、アクセルワークの低減や移動の際の振動抑制の徹底をオペレータの意識向上に努めました。

さらに、同地区での過去の施工実績から、地権者との良好なコミュニケーションを図って円滑に進捗し、工期内に完成することができました。

最後に、本工事の施工にあたりご指導ご助言を頂いた発注者の皆様ならびに工事に関係していただいた皆様に感謝し、厚くお礼を申し上げます。



桶成泰信氏

令和5年度 災害関連緊急治山事業 小原地区 溪間工事

< 施工企業名 > 毎田建設株式会社

- 工 事 名 令和5年度 災害関連緊急治山事業
小原地区 溪間工事
- 施工場所 金沢市小原町地内
- 工事概要 谷止工 N=1個
(L=28.9m、H=8.0m、V=781.5m³)
- 工 期 令和5年5月2日～令和6年3月22日

推薦理由

狭隘かつ急傾斜での溪間工事

本工事は集中豪雨により、山腹斜面が崩壊、土石流被害があった箇所に加え狭隘な地形、斜面が急峻のため、再度、土石流等の恐れのある厳しい現場条件であったが、土石流を監視するカメラの設置や掘削面の浸食の防止を図るブルーシート等の安全対策を講じ、無事故で工事を完成させた。

また、コンクリートの品質確保を図るため、養生マットによる長期間の湿潤確保を保つクラック発生の抑制対策を実施するなど、様々な工夫により、品質、出来映えとも良好であった。



< 完成 >

作業風景



< 掘削状況 >



< 型枠組立状況 >

現場代理人等のコメント



中西夕起夫氏

本工事は、前年度に発生した豪雨による山間部の崩落に対して、砂防堰堤を築造する工事です。施工箇所は、見た目は安定していましたが、掘削作業を進めるにつれ不安定な地盤が現れ、湧水があり崩れやすい地層でした。実際、施工中に小規模ながら3度崩落し、対応に追われました。また、築造中に能登半島地震の発生があり、夜間の現場確認対応も行いましたが、事故無く無事竣工しました。平時は、現場内に監視カメラを置き、常に確認できる体制を作り、築造中は、キャットウォークだけでなく、枠組み足場も設置し安全には特に気を付けました。当初は、余裕を持った計画で工事を進めるつもりでしたが、雨天時の増水や崩落対応に追われ、前半で余裕分を使い切ってしまいました。後半は予定通りの進捗で、能登に支援活動が出来る余裕もでき、工期内の竣工となりました。現在も支援活動中ですが、災害に対して何ができるかを考えさせる現場となりました。最後に、地元の方々、会社の同僚、現場の作業員、そして家族に感謝したいと思います。

令和5年度 基幹水利施設予防保全対策事業 南加賀地区 石橋川工区 排水路工事

< 施工企業名 > 横山建設株式会社

- 工 事 名 令和5年度 基幹水利施設予防保全対策事業
南加賀地区 石橋川工区 排水路工事
- 施工場所 小松市向本折町 地内
- 工事概要 排水路工 L=248m
・表面被覆工 L=248m
- 工 期 令和5年8月16日～令和6年1月5日

推薦理由

住宅地等に隣接した排水路工事

本工事は、小松市の市街地を流れる築造後50年以上経過した老朽化の著しい積ブロック排水路の長寿命化を図るため、表面被覆工を行う水路補修工事である。

公民館やドラッグストア等が隣接しており、工事中の振動・騒音対策が必要であることに加え、降雨時には一気に排水量が増加するため、湛水被害を未然に防止することを念頭に天気予報に留意した工程管理を行いながら、周辺環境の安全確保に努め、適切な安全管理のもと無事故で工事を完成させた。

また、適切な出来形管理、品質管理のもと、出来映え、品質とも良好であった。



< 完成 >

作業風景



< 高韌性モルタル吹付状況 >



< 仮締切材設置、水替え状況 >

現場代理人等のコメント

この度は、令和6年度知事表彰を賜り、誠にありがとうございます。工事にあたりご指導いただきました南加賀農林総合事務所の皆様や、工事関係者の方々には大変お世話になり心より感謝申し上げます。

本工事は老朽化した水利施設の長寿命化を目的とした、既存護岸ブロックの表面被覆と法面保護コンクリートが主な施工内容で天候の影響を受け易い工種であり、降雨による増水時の仮設計画、工程管理が大きな課題でありました。

施工に際し、仮締切りのH形鋼をサイズアップし増設することで降雨による増水の影響を受けにくくし、下地処理～補強材設置までのサイクルを短縮、稼働率アップを可能にしました。これにより工程に余裕が生まれ、表面被覆は好天日を選び施工することが可能になり、所定の品質を確保することができ、工期内に完成することが出来ました。

今後もこの受賞を励みとし、安全第一を念頭に努力してまいります。



横山博和氏

入職促進動画「スタートライン」の作成

石川県建設業協会は、建設業への入職を呼び掛ける動画「スタートライン」を作成しました。建設人材確保特別委員会（井戸谷信一委員長）が作成した約20分の動画で、会員企業の第一線で活躍している6人の若手技術者を紹介しています。

動画作成の経緯

新規入職者の獲得競争は全産業で高まっており、建設業の魅力を強く伝えるため、動画を作成しインターネット配信や学校での活用、職業紹介ハローワークにおける放映など様々な機会でのPRすることとしました。

動画の内容

県外からのUターン、異業種からの入職など経歴の異なる6人が、「石川の建設業を選んだ理由」を率直に伝える内容で、

- ・残業も少なく週休2日でワークライフバランスが確保できる
- ・転勤もなく自宅から通勤ができる
- ・自分の力が地域社会に貢献できる
- ・ふるさと石川のまちづくり、歴史遺産となる建築に携わりたい
- ・地元で就職して友達とのつながりを大切にしたい

など、各自が建設業を選んだ理由が様々であることを紹介しています。

また、「ふるさとへの思い」「現在の気持ちや今後の抱負」等も含めて、本人インタビューとともに、現場での業務風景や余暇活動等も紹介しています。



※このQRコードから動画をご覧になれます



石川労働局への入職促進動画「スタートライン」寄贈

石川県建設業協会は、建設人材の確保等に関し、令和5年8月、石川労働局と「人材確保対策推進協定」を締結し、スキルアップセミナーや就職ガイダンス等の各種取組みを連携して行っています。その一環として、今般、建設人材確保特別委員会（井戸谷信一委員長）が作成した入職促進動画「スタートライン」のDVDを石川労働局に寄贈しました。3月21日（金）、石川労働局において八木健一局長ほか関係者ご出席のもと試写会及び贈呈式を開催しました。鶴山会長は、「石川労働局とは、協定に基づき人材確保に向けた各種取組みを行っている。この動画により一人でも多くの人に建設業に興味を持っていただきたい。」と挨拶し、八木局長から、「動画を拝見し、若手技術者の熱い思いを感じました。有効に活用させていただきます。」と、お話がありました。

本動画は、県内の各ハローワークにおいて求職者を対象に放映されます。



< DVD 寄贈 >



< 動画試写会 >

石川県教育委員会への入職促進動画「スタートライン」寄贈

石川県建設業協会は、入職促進動画「スタートライン」のDVDを石川県教育委員会に寄贈しました。4月8日（火）、鶴山庄市会長、井戸谷信一建設人材確保特別委員会委員長が石川県庁を訪れ、酒井雅洋教育長にDVDを手渡しました。鶴山会長は、「少しでも多くの人にご覧いただき、建設業に関心を持っていただく契機となるよう期待している。」と挨拶し、酒井教育長から、「寄贈いただいた動画を有効に活用していきたい。」と、お話がありました。

本動画は、生徒の就職活動に活用していただくため、県内の各高等学校に配布されました。



< DVD 寄贈 >



< 懇談 >

工業系高校生を対象とした 現場見学会の開催

開催日 令和7年3月5日(水)
見学場所 輪島市内のコミュニティーセンター
建設現場（施工 ムラジ建設(株)）
参加者 金沢市立工業高校 建築科 2年生37名

概要

建設人材確保特別委員会（井戸谷信一委員長）は、県内の工業系高校生を対象とした現場見学会を開催しました。今回は、金沢建設業協会と連携し、同協会青年委員会が金沢市立工業高校建築科での出前授業（リモート）で紹介した輪島市内の鳳至小学校とマリンタウンでの仮設団地におけるコミュニティーセンターの建設現場を見学しました。参加した生徒は、「授業で画面越しに見ていた現場が生で見られて理解が深まった。」等と大変好評でした。

現場見学会にご協力いただきました方々に、改めて感謝申し上げます。



<鳳至小学校での建設現場>



<マリンタウンでの建設現場>

女性部会『百万石小町「結」』 令和6年度幹事会の開催

開催日時 令和7年3月27日(木) 11:00~12:15
開催場所 石川県建設総合センター
出席者 正副部会長2名、幹事16名、事務局2名

概要

女性部会『百万石小町「結」』（森高靖子部会長）は、令和6年度幹事会を開催しました。森高部会長の挨拶に続き、事務局より令和6年度の活動報告並びに令和7年度活動計画（案）を説明し審議しました。



輝きさん

NO.120

沢田工業株式会社

吉井 啓太さん

所属：金沢営業所機械課

勤務年数：3年

年齢：21歳



野々市市栗田の金沢営業所に「4月の輝きさん」を訪ねました。



現場での私

弊社は、昭和40年2月創業で今年60周年を迎えました。「和を持って貴しと為す」を社訓に、アスファルト舗装、景観舗装、駐車場舗装等の舗装事業を中心として、掘削工事、排水構造物敷設工事等の土木事業や業務委託による除雪作業を行っています。私は、金沢営業所機械課に所属しています。

今、白山市内の宅地造成現場で舗装用ローラーやフィニッシャーを扱い道路路盤や調整池舗装を担当しています。小さいころから工事機械を操縦したいと思っていましたが、実際にやってみると難しく、早く先輩方のように乗りこなしたいです。

舗装作業は、夏は暑さとの戦いですが、会社が空調服や飲み物を支給してくれますし、熱中症に気を付け乗り切っています。数年前、大きな舗装現場を仕上げた時に初めて達成感を味わい、自分に任せて貰える充実感を感じながら頑張っています。

休日は、友人達とバレーボールやイカ釣りで楽しんでいます。

バレーボールは高校で入部し、一番の思い出は引退試合です。1セットずつ取り合い、3セット目で完全に流れが相手に渡ったその時、ピンチサーバーの後輩が連続6点を取って試合に勝ったのです。その勝利や皆との打上げの盛り上がり忘れられません。今も週2〜3回、仲間との試合を楽しんでいます。



高校時代の男子バレー部



吉井 啓太さんから
後輩たちに一言

外仕事ですから辛い事や厳しい事は多いですが、途中で諦めずやり切れれば、必ず「自分で頑張った」と実感できる瞬間が訪れます。休日も多く余暇を楽しむ時間もとれます。建設業は、やりがいのある仕事ですから一緒に頑張りましょう。

常任理事会の開催

開催日時 令和7年4月4日(金) 12:40~14:10
 開催場所 石川県建設総合センター
 出席者 正副会長、常任理事、専務理事、
 各地区協会専務理事(事務局長)、県協会事務局

概要

冒頭、鶴山庄市会長の「新年度を迎え、これまでの継続的なことに加えて新たな課題が色々あると思うが、皆さんのご意見を伺いながら解決に向けて取り組んでまいりたい。」と挨拶しました。その後、下記議題について報告・協議を行いました。また、4月1日付けで当協会参与に就任した鈴見裕司氏を紹介しました。



〈議題〉

1. 参議院議員通常選挙における推薦について
2. 今後の主な日程について
3. 建設工事受注高について
4. 各地区協会の活動について
5. 石川県令和7年度実質当初予算について
6. 災害復旧事業における現場環境改善費及び快適トイレの設置費用の取り扱いについて
7. 建設業をめぐる最近の話題について
8. その他

復旧復興工事における労働時間管理・労働災害防止対策に関する講習会の開催

日時・場所 ①令和7年3月4日(火) 14:00~15:30
 能登会場(奥能登総合事務所)
 ②令和7年3月11日(火) 13:30~15:00
 金沢会場(建設総合センター)
 参加者 能登会場28名、金沢会場60名
 講師 石川労働局労働基準部部長 細貝浩之氏
 北陸地方整備局企画部技術検査官
 山崎憲人氏(3月4日のみ)

概要

防災・安全対策特別委員会(澤田 剛委員長)は、石川労働局のご協力のもと、復旧復興工事における労働時間管理・労働災害防止対策に関する講習会を開催しました。

労働局からは、昨年4月から適用された時間外労働の上限規制と災害時の特例や労働災害の現状、具体的な対策について、国土交通省北陸地方整備局からは、適正な工期設定、週休2日に向けた取組についてご説明いただきました。

今後、令和6年能登半島地震及び奥能登豪雨被害の災害復旧工事が本格化し、各種工事の円滑な進捗が望まれる中、その実現には、建設業で働く方々の安全、安心の確保が非常に重要です。当協会では石川労働局ほか関係機関と連携し、引き続き、建設業の働き方改革の推進を支援してまいります。



<能登会場>



<金沢会場>

石川県土木部との意見交換会の開催

開催日時
開催場所
出席者

令和7年3月17日(月) 16:00～17:45
ANAクラウンプラザホテル金沢
石川県土木部

本田 琢技監、長 秀之監理課長、
松尾 和弘技術管理室長、
新田 弘毅課長補佐、田中 清二課長補佐
建設青年委員会
明翫圭祐委員長ほか31名

概要

建設青年委員会（明翫圭祐委員長）は、石川県土木部との意見交換会を開催しました。明翫委員長の挨拶に続き、本田技監から「創造的復興に向けて」と題したご講演いただきました。

引き続き、

- ①能登半島地震復旧工事における現状と課題
 - ②創造的復興にむけた地域事情
 - ③地域建設業における担い手対策
- について意見交換を行いました。



新入社員向けIT研修会の開催

開催日時
開催場所
参加者

第1回：令和7年4月7日(月)・8日(火)
第2回：令和7年4月9日(水)・10日(木)
石川県建設総合センター
41名（第1回22名、第2回19名）

概要

新入社員を対象としたIT研修会を開催しました。

講師に株式会社GSUCCESSの北野雅史氏をお迎えし、Windows11の基本設定やGoogleを活用したクラウド環境の構築、建設業とAI、ビジネスメール作成等、業務全般に渡って活用できる内容を学びました。

受講者からは、「Google Driveの機能を今後も使いたいと思った。AIを積極的に活用したい。」「今回の受講を業務で活かしていきたい。」等の意見がありました。新入社員向けIT研修会は、来年度以降も開催予定です。



輝き☆さん

のラジオ出演！

当協会のホームページや協会報で紹介する“輝き☆さん”（会員企業の若手社員）が、エフエムラジオの番組に毎月出演し、建設業の魅力や仕事への意気込み等を語ります。

エフエム石川



是非お聞きください

けんせつ一番星☆
「-Sunset Express-MOVE」

毎月第4火曜日 18:00～18:05

令和7年度新入社員研修の開催

令和7年4月2日(水)・3日(木)、石川県建設総合センターにおいて、(一社)石川県建設業協会、(一社)金沢建設業協会、東日本建設業保証(株)の共催による「令和7年度新入社員研修」を開催しました。今年度の研修には、県協会会員企業、地区協会会員企業の新入社員73名が参加しました。



〈開講式〉

北川隆明県建設業協会戦略広報・情報化推進委員会委員長、澤田 剛金沢建設業協会総務委員長、渡邊和之東日本建設業保証(株)石川支店長から新入社員へ激励のご挨拶をいただきました。



〈研 修〉

キャリアカウンセラーの蓑輪紀子氏(キャリアオフィスみのわ代表)を講師として、会社(組織)に属して働くとはどういうことか、建設フレッシュマンに求められる行動とは、プロとして持つべき意識とは等、社会人としての心構えのほか、ビジネスマナーやあいさつ、対人コミュニケーションの基礎等を学び、グループ代表者が研修を踏まえた自己成長の為に決意表明を行いました。



〈グループワーク(モノづくり体験学習)〉

各チームごとにストローとセロハンテープを使った自立タワーを作成し、その高さを競いました。



電子保証を利用してみませんか

利用したお客様から聞いた電子保証のメリット

①簡単

証書提出はメールで完了
書面での資料保管不要

②速い

保証申込から証書提出
までを当日で完了

③負担軽減

提出時間や内容訂正や変更での
証書のやりとりの事務負担を軽減

④紛失なし

認証キーは何度でも
提出可能

⑤無料

利用の費用負担なし
(インターネット利用)

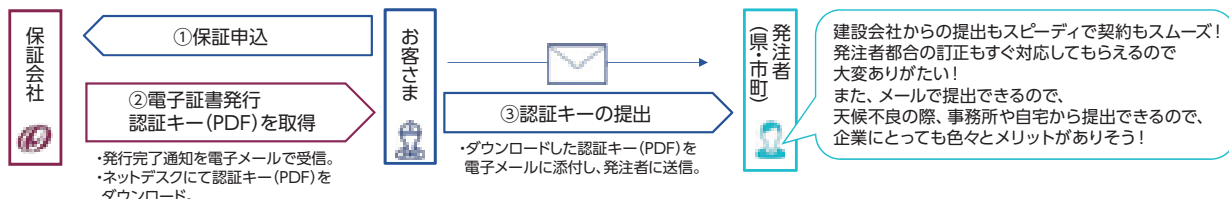
電子保証を採用している県内発注者

国(国土交通省、農林水産省、法務省、防衛省他)
高速道路会社、鉄道運輸機構、金沢大学
石川県(土木部、農林水産部、警察本部)
金沢市、七尾市、小松市、輪島市、珠洲市、加賀市、羽咋市、かほく市、白山市、
能美市、野々市市
川北町、津幡町、内灘町、志賀町、宝達志水町、中能登町、穴水町、能登町

利用メリットにより利用拡大中! (令和6年度は34.0%の電子保証実績)

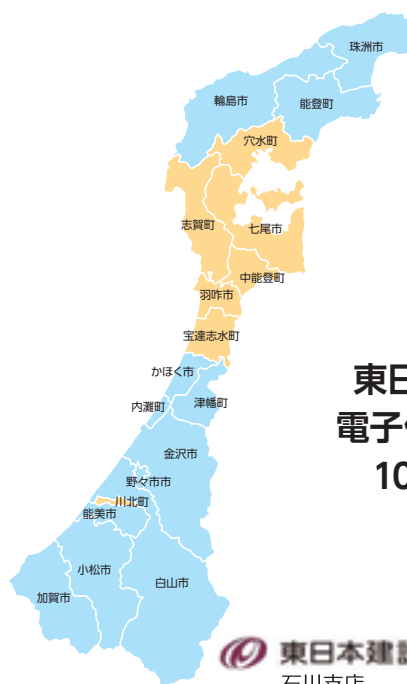
令和6年度	前払金保証		
	全案件数	電子保証	割合
国	313	203	64.2%
独立行政法人等	39	7	17.9%
都道府県	2,691	1,044	38.8%
市町	2,432	636	26.2%
地方公団	12	0	0.0%
その他	64	2	3.1%
合計	5,551	1,890	34.0%

電子保証ご利用の流れ



(参考) 石川県における電子保証の導入状況(令和7年4月現在)

電子保証の状況(石川県内)			
発注者	状況	導入(予定)日	
石川県	◎	2023年11月1日	
金沢市	◎	2024年4月1日	
七尾市	○	2025年4月導入	
小松市	◎	2024年4月1日	
輪島市	◎	2024年1月1日	
珠洲市	◎	2024年12月1日	
加賀市	◎	2025年1月1日	
羽咋市	○	2025年4月導入	
かほく市	◎	2024年4月1日	
白山市	◎	2024年4月1日	
能美市	◎	2024年4月1日	
野々市市	◎	2024年10月1日	
川北町	○	2025年4月導入	
津幡町	◎	2024年6月1日	
内灘町	◎	2024年4月1日	
志賀町	○	2025年4月導入	
宝達志水町	○	2025年4月導入	
中能登町	○	2025年4月導入	
穴水町	○	2025年4月導入	
能登町	◎	2024年4月1日	



東日本管内初
電子保証導入率
100%達成

東日本建設業保証株式会社
石川支店 ☎076-242-1231

建設業のみなさんへ

建退共
KENTAI KYO

建退共
けん たい きょう
に入ろう!



従業員をまもる。
会社を強くする。

建設現場で働く労働者のための国の退職金制度です。

掛金は損金扱い!
新規加入で一部免除

電子申請方式なら
手続きもカンタン!

一人親方も
加入できる!

詳しい情報はこちら!

Q 建退共

<https://www.kentaikyo.taisyokukin.go.jp>



建設業退職金共済制度

独立行政法人 勤労者退職金共済機構 建設業退職金共済事業本部

〒170-8055 東京都豊島区東池袋1-24-1 TEL 03-6731-2866

(2024.09)

お問い合わせは

建退共石川県支部

〒921-8036 金沢市弥生2-1-23 (石川県建設総合センター1F)
TEL076-242-2608(代) FAX076-241-9258

ますます安心。充実の制度。



契約者割戻金制度が始まっています。

契約者
割戻金制度により
**掛金負担が
軽減**

手厚い補償

保険金区分合計
最高**5,000万円**

労働者と企業の
**リスクを
カバー**

社員と家族、会社を守るために。

建設共済保険

法定外労災補償制度



今すぐ、ご加入を!

「建設共済保険」の他にも、次のような事業を行っています。

育英奨学事業

被災者(死亡および障害・傷病3級以上)の子供に対して、要保育期間および小学校から大学までの在学期間中、返済不要の奨学金を継続して給付。

労働安全衛生推進事業

- ① 安全衛生用品の頒布
- ② 女性専用トイレ・更衣室導入費用の助成
- ③ 安全衛生推進者表彰 等

公益財団法人

建設業福祉共済団

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-2-8 虎ノ門琴平タワー 11階

■ 取扱機関: (一社)石川県建設業協会
〒921-8036 金沢市弥生2-1-23
Tel. 076-242-1161 Fax. 076-241-9258



正確な掛金の試算や資料請求はこちらまで



0120-913-931

受付時間 午前 9:00 ~ 午後 5:00(土日祝を除く)

建設共済保険

検索

<https://www.kyousaidan.or.jp/>



※写真は表紙作品より一部拡大して掲載

石川の工芸シリーズ 80

表紙写真

象嵌花器「いつかの風景」 (ぞうがんかき いつかのふうけい)

前田 真知子 (まえだ まちこ)

1981～

個人蔵

制作年／令和5(2023)年 サイズ／径10×高さ16cm

作者は金沢市生まれ。金沢美術工芸大学大学院修了後、加賀象嵌作家として自宅工房にて制作活動を行う。作品は、桜咲く犀川河畔の春の風景を、精緻な象嵌技法で描いたもの。

鋳物のボディに、^{し ぶ い ち}四分一（銅と銀の合金）と銀で、犀川の流
れと満開の桜並木を嵌め込み、桜と川をつなぐ大地は、金属
を重ねあわせる^{もくめがね}空目金の技法で表現した。さらに陽春の煌く
光が、空から川面へと散りばめられている。

“金沢の何気ない日常の風景を切り取って作品の中に表現することで、金沢の良さを伝えたい”という、作者の想いが伝わる作品といえる。



“未来”を創り“ふる里”を守る建設産業
一般社団法人 **石川県建設業協会**

〒921-8036 石川県金沢市弥生2丁目1番23号

TEL (076)242-1161(代)

FAX (076)241-9258

URL <http://www.ishikenkyo.or.jp/>



この冊子は、植物油インキを使用し、環境にやさしい
「水なし印刷」を採用した印刷物です。